

教育課程特例校における特別の教育課程の編成方針等について

学校名	小林聖心女子学院小学校	都道府県	兵庫県
管理機関	学校法人 聖心女子学院	設置者別	私立

1. 特例校指定の開始日

2025（令和7）年4月1日より適用

2. 特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本校は、キリスト教の価値観に基づくカトリック校として、世界の一員として連帯感と使命感を持って、より良い社会を築くことに貢献する賢明な女性を育成することを教育理念としている。そのため、一人ひとりの全人格的成長を願い、「魂を育てる」「知性を磨く」「実行力を養う」という方針を大切にしている。自分を大切にしながらも世界に視野を広げ、これからのグローバルな社会を生き抜く資質・能力を養う教育を実践している。

中でも、英語教育においては、国境を越えて他者のために行動できるように、その道具として英語の力を培えるようにカリキュラムを編成している。小学校・中学校・高校の12年間一貫教育である利点を活かして、4-4-4制カリキュラムを導入することで発達段階に応じた英語教育を実施している。歌やスタンツで自然に英語の土台となる力が身につく小学校1～4年の段階から、英語を使って身近な話題に関する言語活動を行う小学校5年～中学2年の段階を経て、より多様な英語の表現や語彙を学びディベートやディスカッションを取り入れる中学3年～高校3年の段階までの英語の指導を行っている。様々な文化や習慣、価値観を持つ人々を尊重して意思疎通できるように、英語力を身につけることで他者とよりよい関係を築くことができる英語教育の基礎・基本を小学校段階で工夫して取り組んでいる。

3. 特別の教育課程の内容

1～4年の段階では、週に2時間の英語学習をしている。ひとクラスを2つの少人数に分けて、ネイティブ教員と日本人教員がそれぞれ指導にあたる「スプリット教育」を取り入れている。この取り組みにより、児童一人ひとりの理解度に応じた丁寧な指導ができ、英語の語彙を覚えるにとどまらず、コミュニケーション力や国際感覚を育てる英語として、本校の小学校英語教育の柱となっている。さらに、音と文字を関連付けた「フォニックス指導」によって「聞く」「話す」英語学習を「読む」「書く」につなげて、より深い理解ができるようにしている。5年生からは週3時間の英語の学習をして、英文法にも取り組む。英語を正確に理解したり発信したりできるように英語の文のきまりに関する学習も開始する。このように、実践的に使える英語力を育むことで、英語を使って人や社会のために役立つ人に育つことを目指している。